

# ほっかいどうの社会保障

2015年2月19日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

いのちとくらしをまもれ！

2・21総決起集会&デモまで

あと2日

## 子ども医療費を中学まで無料にして！

新日本婦人の会 北海道に対して、21,005筆の署名を提出

2月18日、新婦人の会北海道本部は、高橋知事に対する「北海道の『子ども医療費助成制度の無料化』を通院・入院とも中学校卒業まで拡充するよう求める要請署名」21,005筆（1次提出分と合わせて）を中村淳二・子ども未来推進局長に提出しました。



工藤会長から、今年1月から江差町で高校生まで無料に拡大するなど市町村でも努力していることも紹介し道の制度の拡充を求めました。2人の母親から、初診時一部負担金や助成対象になっていない年代の子ども医療費の重い負担や充実を求める切実な要望を訴えました。会場には25人の会員と6人の子どもが参加しました。

昨年春本州から北海道に移転してきた母親は、「以前住んでいたまちでは、通院1回300円で済みました。今では所得制限があり3割負担です。是非拡充してほしい」と話していました。

通院	対象	3歳未満	3歳以上非課税	3歳以上課税世帯	所得制限
北海道	就学前まで	初診時一時金有		1割負担 上限額有	有
江差町	高校生まで	無料			なし

  

入院	対象	3歳未満	3歳以上非課税	3歳以上課税世帯	所得制限
北海道	小学校まで	初診時一時金有		1割負担 上限額有	有
江差町	高校生まで	無料			なし

1月から、対象を中学生から高校生まで対象を拡大した江差町の照井誉之介町長は、「子どもは地域の宝です。子どもは平等です」と話しています。初診時一部負担金も所得制限も撤廃しました。

## 「命に関わる問題」 介護報酬引き下げ、人材不足が議論に

### 第4回 北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画検討協議会

2月18日、第4回北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援検討協議会（最終回）が行われ、同計画（素案）に対するパブコメ意見の概要報告も受けて、同計画案について協議しました。

協議では、「看護師やケアマネをはじめ介護職員など、確保ができず事業が継続できない。地方だけでなく都市部でも確保できない」という意見が多数だされました。また、「今度の介護報酬の引き下げは、事業が継続できないところが増える」「特養では100床で介護職員の処遇加算を加えても1000万円減収になる」「建物はできるが、職員がいなくて稼働できない状況が生まれる。すでに起きています」と予想される深刻な影響について報告されました。

また、「道で3301床特養を増す計画になっているが、人材の奪い合いで実現できるかわからない。給与を下げればという意見もあるが、人を扱う仕事で、介護の質も下げる危険もある。事業所の危機は、利用者が制度を利用できないことにつながる。命に関わる問題」、「計画づくりで終わりではなく、これからが重要」という意見も出されました。今後、道議会へ報告した上で3月に計画を確定する予定です。



介護に笑顔を！道連絡会では、介護報酬の引き上げを求める取り組みを広げるため、事業者に対する緊急影響調査を行い、3月6日に記者発表を計画しています。

3月6日には昼宣伝、3月7日には学習会も行います。ご参加ください。